

科目名	日本社会の歴史	単位数	2	授業形態	講義	担当 教員	天野 忠幸 (非常勤)
英語表記	Japanese History and Culture						

● 科目の主題

日本の戦国時代は、100年以上続く内乱の時代であった。戦国武将が注目されることが多いが、社会を構成する、それ以外の階層も活力に満ちた時代であり、興味深い。

なぜ合戦が続いているのか。どのような惨禍が待っているのか。百姓はどうやって生き延びるのか。寺社はどんな役割を果たしたのか。どうやって地域社会を守るのか。地域社会や国境を越えてどのように活動していくのか。

現代とは比べものにならないくらい過酷な戦国時代を、一般的に被害者や弱者とされる階層の視点から捉え直し、生き残っていくシステムを紹介しながら見ていく。

● 授業の到達目標

戦国武将以外の百姓・都市民・寺社・女性などに着目することで、戦国社会の特色を垣間見、日本社会の歴史の多様性や特徴を学び、複雑かつ具体的な事象が、歴史を作りあげてゆくことを理解する。

● 授業内容・授業計画

講義はおおよそ以下のテーマでおこなう。

- 1 : 戦国時代の概要
- 2 : 合戦の実像
- 3 : 村と民衆 1
- 4 : 村と民衆 2
- 5 : 都市に住む 1
- 6 : 都市に住む 2

6 : 戦国仏教 1

7 : 戦国仏教 2

8 : 旅する人々

9 : 商人の世界

10 : 水軍の世界

11 : 海外へ向かう人々

12 : 海外からやってくる人々

13 : 女性の城主

14 : 天下一統の時代

15 : まとめ

● 事前・事後学習の内容

授業内において、予習・復習すべき図書を随時指示する。また、各自が博物館等施設を見学することで、講義の時代背景に関する知識を持ってもらおう。これらについて、小レポートの提出を求めらる。

● 評価方法

講義内容を的確に理解できているか、講義に能動的にかかわっているかを、小レポート(30/100)と定期試験(70/100)で評価する。

● 受講生へのコメント

高校までの「日本史」受講の有無や、暗記的知識の量は問わない。但し、受講にあたっては論理的展開をおってゆく努力が必要である。

● 教材

テキスト：特になし。

参考文献：適宜しめす。

プリント：毎回配布する。